

〈ケア〉を考える会 (第127回)

■日時：2020年1月19日(日) 13:30~17:30

■会場：京都市山科区安朱中溝町3-2
山科駅より東 徒歩3~4分の民家
(山添 宅) (安朱保育園 東隣)



■当日の大まかな予定
13:00 → 有志集合…会場準備等
13:30~ → 学びの会/対話
15:30頃~ → 懇親会(笑いヨガ/音楽演奏なども)
17:00~17:30 → 片付け、終了
(その後で、名残惜しコーヒータイム ?)

■内容

(1) 読書対話

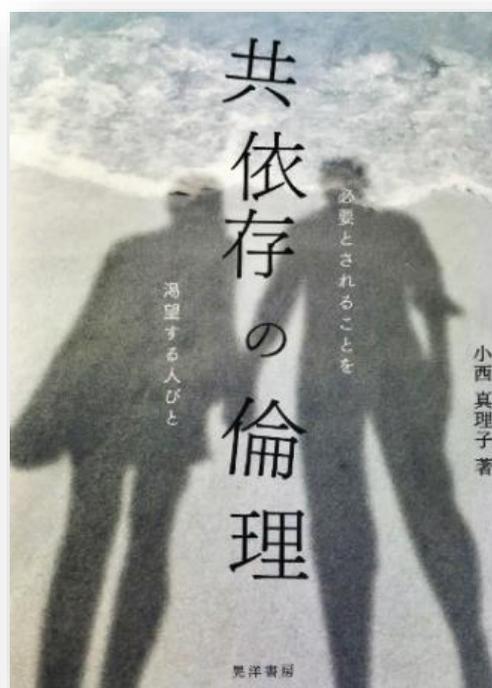
小西真理子著『共依存の倫理』(晃洋書房)

第6章「共依存の回復論」第1節(P.210~239)



発表・解説・コメント：小西真理子さん (大阪大学・臨床哲学・講師)

「共依存」は、他者との間で依存-支配-服従の関係が存在し、本人の「自己」が損なわれている状態である。とすれば「自己」の回復が図られなければならない。▼ところが、そんな簡単な問題ではない。人は他者に「依存」しなければ生きていけない存在なのだ。では、「自己」の実現と「依存」をどう考えるか。そこに「再帰性」という概念が関わってくる。▼さらに、「自己」をこえて、ある方向に導いていこうとするものが在るようだ。▼ああ 難しい。でも、なにかワクワクする。これぞ、〈ケア〉を考える会だ。著者の小西さんが居てくれるのが頼もしく、うれしい。 〈道〉



小西真理子さん

おたがいの言葉を手がかりに考える時間をもつこと、確かめながらゆっくりと考える時間を共にし、分け合う。「考え」でなく、「考え方」をお互い共有してゆく。対話には結論はありません。プロセスをゆたかにできなくては。(長田弘『なつかしい時間』P.191)

(2) 懇親会…食べながら飲みながら語り合います(持ち込み歓迎)

★会費：懇親会参加者のみ 1000 円。★どなたでも参加できます(初参加歓迎)。先着 20 名程度。

★問い合わせ⇒ 林まで：michi-care@outlook.jp 090-5366-1497

「〈ケア〉を考える会」ホームページ
<http://care-kyoto.jimdo.com/>

「〈ケア〉を考える会-岡山」
<http://okayama-care.jimdo.com/>

わたしたちはじぶんのいのちが他のいのちとの交換のなかにあることを知らされる。(鷲田清一『老いの空白』P.227)